

株式会社 OKU 環境方針

1.基本理念

- ① 株式会社 OKU は人類共通の課題である深刻化する環境問題に取り組むことを企業の社会的、公共的使命と自覚し積極的に会社で取り組みます。
- ② 地域社会の発展に貢献し、社会から一層信頼される企業を目指します。

2.基本方針

- ① 環境関連法規制条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
- ② 自動車からの排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するため、エコドライブの実践、低公害車の導入を推進します。
- ③ 環境保全に関する教育、啓蒙活動を実践して、継続していきます。全従業員に環境方針を周知し、環境意識の向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献します。
- ④ 廃棄物の削減、適正処理、リサイクルを推進します。
- ⑤ 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

3.目標

- ① 燃費改善 3% (2021年10月1日～2022年9月30日)

2021年12月1日
株式会社 OKU
環境保全管理責任者
代表取締役 奥 敦浩

株式会社 OKU

2022 年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(「グリーン経営推進チェックリスト」に基づく現状把握と今後の課題)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針を策定し、環境保全管理者及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどしている。(レベル1)。今後は、環境保全に関する積極取組み項目を定め、管理者責任者などの役割や責任権限の明確化をはかり、従業員に対して環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報を定期的に伝えて環境保全意識の向上を図るなどの取組みが必要である。

(2) エコドライブの実施

認証項目以外の取組みができていない。デジタコを導入しており、より燃費が向上できるように指導教育を行う。

燃費に関しては走行距離及び燃料の使用状況を把握(レベル1)し、燃費の定量的な目標まで把握(レベル2)している。

全車両の燃費目標 3.96 km/ℓ とし、大型車(積載量 12 t 以上 17 t 未満)燃費目標 3.71km/ℓ、4 t (積載量 2 t 以上 4 t 未満)燃費目標 6.80/ℓ、とし、燃費表による個別指導を行う。

(3) 低公害車の導入

コロナ化による業績低迷からの回復が出来れば低公害車(ハイブリット車)の導入を計画している。

全車両とも最新規制適合ディーゼル車への代替は済んでいる(レベル2)

(4) 自動車の点検・整備

おおむね各項目とも(レベル2)の取組みは実施している。

(5) 廃棄物の適切処理およびリサイクルの推進

廃棄物の処理は適性を実施している。

従業員への廃棄物に関する教育も実施している。

(6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

管理部門の従業員へは環境教育は安全環境会議で実施している。

廃棄物分別、不要な照明、空調温度の設定も出来ている。

使用エネルギー（電気、水道等）の使用料を把握し目標をさだめている。

2. 目 標

(1) 環境教育の推進

(2) 燃費向上：3%向上（令和3年4月～令和3年9月の燃費に対して）

(3) 事務所での環境保全の推進：エネルギー使用量の削減

3. 目標達成に向けた具体的な取組み内容

(1) 「環境教育の推進」に向けた具体的な取組み

全体会議にて環境に関する一般的情報（環境の現状、問題、将来的な危惧など）や毎月の燃費実績データを公表し、継続的に情報提供と教育を実施し、環境意識の啓もうを図る。

(2) 「燃費向上 3%向上（令和3年4月～令和3年9月に対して）」に向けた取組み

・月次実績の発表、個別指導教育の実施

・グループ活動の実施

A B C（3グループ）に分け、テーマとして「エコドライブ」「デジタルコ
経済評価」をもとに進捗状況確認を毎月行う。終了後グループで話し合いをする

・アイドリングストップの徹底

今後、休息時のアイドリングストップ徹底の為、蓄熱マットを導入していきたい。（計画はしていない）

・エコドライブの講習会を年1回実施。

4. 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的取組み

・コピーカウントの使用量を把握し、可視化する。

・光熱費の実績を把握し、可視化する。

2021年12月1日

株式会社 OKU

環境保全管理責任者

代表取締役 奥 敦浩